

【単元のポイント】

2けたでわるわり算の筆算

4年生 算数 第8単元

学習指導要領（平成 29 年告示）の目標

【A 数と計算】A(3) 整数の除法

除数が2位数の場合の除法の計算が、基本的な計算を基にしてできること。また、その筆算の仕方について理解すること。

◆ 評価の3観点における目標

【知識・技能】

- 2けたでわるわり算の筆算ができる
- 商の見積もりを立てて計算できる
- 余りの確かめができる

【思考・判断・表現】

- 商を見積もる方法を説明できる
- わられる数が大きい場合も手順通り計算できる
- 計算の仕方を考え、説明できる

【主体的に学習に取り組む態度】

- 既習の計算を使って考えようとしている
- 見積もりの大切さに気づいている

◆ 指導上の留意点

1. 商の見積もり

- 23 で割るとき、20 で見積もって商を立てる
- 商が大きすぎたら 1 小さく、小さすぎたら 1 大きく修正
- 「仮の商」と「本当の商」という考え方

2. 筆算の手順

- たてる → かける → ひく → おろす（1 けたの時と同じ）
- 余りがわる数より小さいことを確認
- 商が 2 けた以上になる場合の処理

3. つまづきやすいポイント

- 商の見積もりが難しい（23 で割るのに 30 で見積もるなど）
- 商が大きすぎて引けなくなる
- 商が小さすぎて余りがわる数より大きくなる
- 3 けた ÷ 2 けたで商の位置を間違える

◆ プリント作成時の配慮事項

1. 段階的な難易度：2 けた ÷ 2 けた → 3 けた ÷ 2 けた
2. 見積もりの練習：商を予想する問題
3. 確かめ算：余りの確かめを忘れずに
4. 文章題：「何人に分けられる？」など
5. 間違い探し：よくある間違いパターンを提示